

TCK 空手道播磨と田中道場の挑戦～出場者全員が笑顔になれる大会～

期日／2024年3月2日（土）

会場／障害者スポーツ交流館（兵庫県）

主催／TCK（ザ チャレンジド カラテ）空手道播磨
田中道場（日本空手道拳和会明石二見支部）

TCK（ザ チャレンジド カラテ）空手道播磨と田中道場（日本空手道拳和会明石二見支部）の主催で、パラ大会の「空手道播磨チャレンジ大会（個人戦）」と「ユニバーサル大会（団体戦）」が開催された。

両団体の代表である田中博之師範（下写真前列右端）は、30年にわたって兵庫県のパラ空手を牽引してきた。それと同時に、健常者と障がい者の垣根を超えたユニバーサルな空手道を推進している。

空手道播磨チャレンジ大会（個人戦）

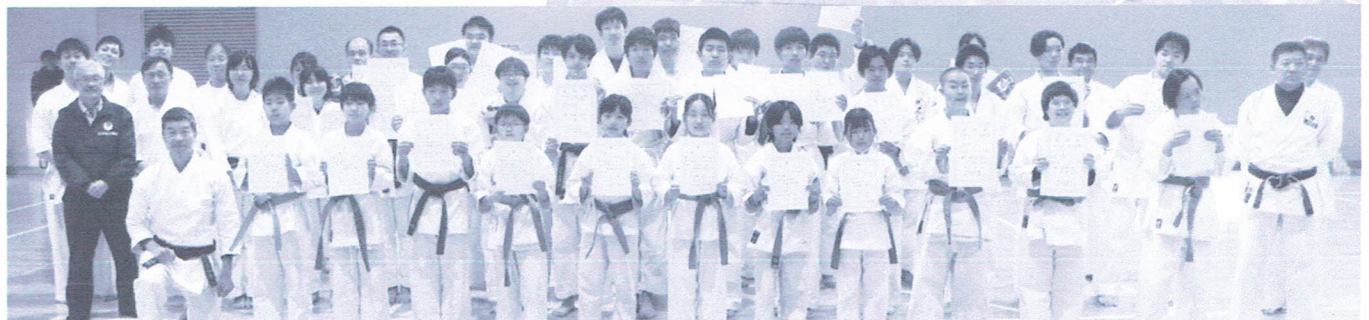
空手道播磨チャレンジ大会は、パラ選手による個人戦で、今大会で4回目となった。回を重ねるごとにパラ選手たちの交流が徐々に進んできている。

障がいの程度や習熟度でカテゴリーを3つに分けているため得点が拮抗し、緊張感ある試合が繰り広げられた。最上位クラスにあたるアドバンスの部では、2度の世界大会出場経験のある今在家翔太選手がベテランの風格で優勝した。

ユニバーサル大会（団体戦）

パラ選手チームと田中道場の小学生男女を中心としたチームが、団体形で真っ向から勝負したユニバーサル大会。

試合前、田中道場の指導員・西條智樹先生（県立西はりま特別支援学校空手道部顧問）と山本四葉先生（県立明石西高等学校空手道部）がパイキューを披露した。難易度の高い形の見事に一致した動きと力強い突き、蹴りに大きな拍手がおくられた。



大会結果

【空手道播磨チャレンジ大会（個人戦）】

◆チャレンジの部

【優勝】筒井教晶（空手道播磨姫路）【第2位】田中大凱（姫路特支分教室空手道部）【第3位】柏原明音（空手道播磨姫路）

◆ミドルの部

【優勝】林隆騎（西神戸高等特支空手道部）【第2位】清水美帆（空手道播磨姫路）【第3位】近木康輝（空手道播磨姫路）

◆アドバンスの部

【優勝】今在家翔太（空手道播磨リハセンター）【第2位】清瀬竜也（空手道播磨姫路）【第3位】武内仁志（空手道播磨姫路）

【ユニバーサル大会（団体戦）】

【優勝】西神戸高等特支空手道部【第2位】空手道播磨「シュガーロダン」【第3位】空手道播磨「姫路支部選抜」

試合では年齢や帯の色、療育手帳の等級などによってハンデ点が決められており、演武の得点にハンデ点を加算されて、最終得点となる。

パラ選手チームには、兵庫県内の特別支援学校空手道部からも多数参加。計10チームで技を競い、交流を深めた。各チーム、気迫あふれる演武で接戦が続いたが、西神戸高等特別支援学校空手道部が、スピード感のある平安二段で初出場ながら初優勝を飾った。（寄稿）

